

別紙 2 3

【薬効分類】 6 2 5 抗ウイルス剤

【医薬品名】 リルピビリン塩酸塩

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） リファンピシン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、フェニトイン・フェノバルビタール、ホスフェニトイン、アパルタミド、エンザルタミド、デキサメタゾン（全身投与）（単回投与を除く）、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、プロトンポンプ阻害剤（オメプラゾール、ランソプラゾール、アスピリン・ランソプラゾール、ラベプラゾール、エソメプラゾール、ボノプラザンフマル酸塩、アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩）を投与中の患者			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） リファンピシン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、フェニトイン・フェノバルビタール、ホスフェニトイン、アパルタミド、エンザルタミド、 <u>イボシデニブ、エンコラフエニブ、ミトタン、</u> デキサメタゾン（全身投与）（単回投与を除く）、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、プロトンポンプ阻害剤（オメプラゾール、ランソプラゾール、アスピリン・ランソプラゾール、ラベプラゾール、エソメプラゾール、ボノプラザンフマル酸塩、アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩）を投与中の患者		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
アパルタミド エンザルタミド	本剤の血中濃度が低下し、本剤の効果が減弱	これらの薬剤のCYP3A誘導作用により、本	アパルタミド エンザルタミド	本剤の血中濃度が低下し、本剤の効果が減弱	これらの薬剤のCYP3A誘導作用により、本

	するおそれがある。	剤の代謝が促進される。	<u>イボシデニブ</u> <u>エンコラフェニブ</u> <u>ミトタン</u>	するおそれがある。	剤の代謝が促進される。